

バレー女子

1月5～9日・東京

秋田北

(4年連続
6度目)

全国で輝け

⑧

大舞台に挑む本県高校チーム

4人の3年生全員がスパイカーで、1年から毎年メンバー入りしてきた。4年連続6度目となる全日本高校選手権

さきがけ動画



力強いスパイクを放つ大柄
(右) 秋田北高校体育館

番	氏名	出身	身長(センチ)
1	大柄 美優③	中井 平	170
2	小松 未央③	二ツ勝 桜	170
3	柴田 蒼生③	成南 曲	173
4	長澤 早紀③	豊手 大	173
5	佐藤 遥香②	大 桜	173
6	矢野 望白②	友香 ①	160
7	渡邊 彩美②	美月 ①	161
8	中嶋 友香①	土秋 崎	170
9	齊藤 美月②	土秋 崎	170
10	藤井 菜月①	土秋 崎	171
11	齊藤 悠亜①	土秋 崎	170
12	藤田 悠亜①	土秋 崎	170
13	大友 心海②	大岩 秋	153
14	二見 夏帆②	勝秋 北	162
15	佐藤 李桜①	秋田 北	162
16	工藤 希和①	大 曲	170
17	相馬 沙希①	大 曲	163
18	泉 沙希①	御野 場	165

(丸数字は学年、◎は主将)

守備を磨き8強狙う

(春高バレー)は、目標の全国8強に挑む最後の舞台となる。ミドルブロッカー小松未央主将(3年)は「本番を迎えるまで守備力を磨かなければいけない」と引き締まった表情を見せる。

県予選決勝では、全真高校総体と県体で苦杯をなめた由利にストレート勝ち。ミドルブロッカー柴田蒼生(同)が要所でブロックポイントを決め、3年生の意地を示した。昨年は序盤で足を負傷。満足にコートに立てなかった悔しさを今年の予選にぶつけた。

力強いスパイクの大柄美優(同)と高さがある長澤早紀(同)のダブルエースによるレフト攻撃を中心に、ミドルやライトからも攻めたい。攻撃のアクセントになるのがサウスボー佐藤遥香(2年)だ。



戸嶋幸子監督は「まだミスはあるが考えてコースを狙える選手」と評価。視野の広さもあり、主力の3年生を支え、存在感を発揮できるか。

大柄と長澤はブレーの安定感だけでなく、中心選手としての責任感も増してきた。長澤は「守備にまだ甘さがあるが、同期とは苦しい時も一緒に乗り越えてきた。勝ちたい」と思いを語る。大柄も「長澤以上に点を取り、自分たちの代で8強を達成したい」と気合を込める。

大会に向け、ブロックの位置取りとそれに連動したレシーブの対応を強化している。2回戦から登場し、八女学院(福岡)―国学院栃木(栃木)の勝者と対戦する。どちらも力のあるチームで、守備の精度が明暗を分けるとみられる。

チームの合言葉は「勝尽(しょうじん)」。勝利に向かい、取り組めることに力を尽くそうという思いを込めた。小松は「毎年悔しい思いをしてきた。集大成にしたい」と誓った。

(加藤倫子)
〈終わり〉